

令和8年度 商業振興補助事業審査委員会（第2回）議事録

- 1 日 時 令和8年5月29日(金)14時00分～16時20分
- 2 場 所 横須賀市役所2号館6階261会議室
- 3 出席委員 大場 保男（中小企業診断士）
渡利 恭明（中小企業診断士）
安食 静二（INPIT神奈川県知財総合支援窓口）
鈴木 博明（神奈川県産業労働局商業流通課主任専門員）
小幡 純（横須賀商工会議所 産業・地域活性課長 兼 情報企画課長）
島崎 恭光（横須賀市文化スポーツ観光部商業振興課長）
- 4 事務局 文化スポーツ観光部商業振興課 三本木課長補佐、熊野、牧野
- 5 傍聴者 1名
- 6 議事内容
 - (1)審査スケジュールについて
(事務局)
本日は、にぎわいづくりイベント事業6団体の審査を予定している。
 - (2)審査方法について
(事務局)
【にぎわいづくりイベント事業】
にぎわいづくりイベント事業は採点を行わず、より良い事業を実施するための意見や助言等をいただきたい。
 - (3)にぎわいづくりイベント事業
・久里浜商店会協同組合 質疑応答
(委員)
食の祭典で、グルメコンテストは毎年実施しているか。
(久里浜商店街協同組合)
商店街の飲食店を募集し、毎年実施している。
当日商店街を通行止めにして、テントやキッチンカーを出店訪れたお客さんに投票してもらう。
(委員)
何人くらいから投票があるか。
(久里浜商店街協同組合)
約300人。
(委員)

当選したお店に対して何かあるか。

(久里浜商店街協同組合)

観光協会のホームページに掲載される。

(委員)

茅ヶ崎でもグルメコンテスト開催していて、100 円で 1 投票できる。

最後、重さで投票数を判断し、集まったお金は寄附する取組みをしているので、ご参考までに。

(久里浜商店街協同組合)

ありがとうございます。

(委員)

久里浜の病院に訪れた方に商店街に立ち寄ってもらう工夫あるか。

(久里浜商店街協同組合)

商店街に空き店舗なども増えているので、難しい状況。

(委員)

病院まではバスが出ているか。

(久里浜商店街協同組合)

はい。歩くと少し距離があり、商店街を通る方は少ない印象。

(委員)

「鯉のぼりの展示」について、各家庭から募集したものか。

(久里浜商店街協同組合)

はい、3 月頃から募集して、集まった鯉のぼりを展示する。

(委員)

鯉のぼりの評判は良かったか。

(久里浜商店街協同組合)

数も集まり、きれいに飾れたのでよかった。

(委員)

ペリー祭について、商店街のタイムスケジュールはどうなっているか。

(久里浜商店街協同組合)

商店街は開国バザールを開催している。8 時から通行止めを行い、10 時にパフォーマンスやヒーローショーを実施。模擬店は 21 時まで出店している。

(委員)

日中にお客さんの来街はあるか。

(久里浜商店街協同組合)

かなりお客さんが来ている。昼間の集客に問題意識は感じていない。

(委員)

花火が終わって駅に戻ってくるお客さん相手に商店街を利用してもらう仕掛けづくりができないか。

(久里浜商店街協同組合)

やれることはやっているが、21 時の通行止め解除の作業や、人込み過多で対応が難しく商品も売り切れるため、そこは課題となっている。

(委員)

臨時店だけでなく既存店での集客も行い、お客さんの分散も検討してはどうか。

(久里浜商店街協同組合)

人混みが危険なので、あえてお店を閉めるところもある。

京急久里浜駅は警察が入り入場制限を行い、安全管理の方が優先される。

今回は人混み対策もあり、海岸沿いに的屋の出店ない。

(委員)

せっかく観覧客が来るので、何か仕組みを考えられるとよいと思う。

(久里浜商店街協同組合)

承知した。

・追浜銀座通り商店会 質疑応答

(委員)

新たに子育て世代を獲得したいとあるが、どんな業種を想定しているか。

(追浜銀座通り商店会)

実際あまりない。ゲームセンターやファミリーレストランがなく、お祭りの時しか子どもたちの来街が見込めないため、当日に街を歩いてみてもらいたい。

(委員)

スタンプラリーなどの子どもが周遊できる仕掛けづくりはどうか。

猫が有名な商店街では、街中にある猫の像の写真を撮ると景品がもらえるイベントをやっている。

(追浜銀座通り商店会)

参考にさせていただく。

(委員)

これから再開発が進み、苦しい時でも続けられるようなイベントや工夫があると嬉しい。日産の影響はあるか。

(追浜銀座通り商店会)

影響は大きい。また、道路の拡張工事があり、空きテナントができても新店舗が入ってこない。それも踏まえて商店街の活性化に注力していく。

(委員)

道路拡張した後まで視野に入れるのはまだ早いか。

(追浜銀座通り商店会)

はい。不透明な部分が多い。

(委員)

追浜商店街応援団を立ち上げるのはどうか。

(追浜銀座通り商店会)

観光協会の会長とそういった取組みは色々考えている。

(委員)

実際に人は減っているか。

(追浜銀座通り商店会)

はい。すでに市外へ引っ越す人も多い。

(委員)

ベ이스ターズとの取組みはどうなっているか。

(追浜銀座通り商店会)

おっぱま祭りではストラックアウトとサイン会をやる。

マリノスとも連携している。

今年はおっぱま祭りでスポーツ補助を活用して、ベ이스ターズとマリノスの区画を作る。また、新たに子どもメインのダンスチーム呼んだり、阿波踊りの数を増やす予定。

(委員)

追浜の家賃相場は。

(追浜銀座通り商店会)

他の商店街より高い。

(委員)

店舗が撤退した後、イベントなどによる空きスペースの活用ができれば、人を引き込めるのではないか。活用方法も考えてみてほしい。

お化け屋敷などを子どもたちにやってもらい、お金がかからないイベントで工夫をしてみてはどうか。

(追浜銀座通り商店会)

近隣の学校の子どもたちは商店街に興味を持っており、どんな店があるか、街はどうなるのかなど聞いてくれる。

・野比駅前商店会 質疑応答

(委員)

すいちゃんのぬいぐるみグッズはいつ作ったか。

(野比駅前商店会)

約1か月前に試作した。

(委員)

いつから活用するか。

(野比駅前商店会)

周囲の意見を聞きながら様子を見ている状況。

(委員)

ぬいぐるみの利用について、子どもたちからアイデアを集めてはどうか。

(野比駅前商店会)

すいちゃんが浸透することが主題。いずれは各店に置いて欲しいと考えている。

(委員)

製作費はいくらくらいか。

(野比駅前商店会)

試作品がハンドメイドなので不明。

(委員)

子どもにすいちゃんを作ってもらふコンテストなどを開催してはどうか。

(野比駅前商店会)

参考にさせていただく。

(委員)

優しいおもてなしとはどういうことをするのか。

(野比駅前商店会)

みんなで声を掛け合おうという取組み。挨拶だけでも構わない。

(委員)

ついにすいちゃんが形になったので、すいちゃんの活用については期待している。すいちゃんを使って商店街として伝えたいことを進めていって欲しい。物語性があってもいいかもしれない。

(野比駅前商店会)

承知した。

(委員)

立体化する際に inpit のデザイナーに無料で相談できるので、活用してもいいと思う。

また、キャラクターを浸透させるために、アクリルスタンドやアクリルキーホルダーの作成は手段としてありかもしれない。ばらまきは効果的なので検討してもいいのではないかな。

(野比駅前商店会)

以前缶バッジを作り、とてもよかった。

(委員)

塗り絵をしてもらい景品と交換する取組みも、効果的で手間がかからない。お店に作品を掲示することもできる。

外部の専門家と補助金をうまく利用しながら進めてほしい。

・千日通商店街振興組合 質疑応答

(委員)

店名のプレートを付けたイルミネーション装飾は、以前から実施しているか。

(千日通商店街振興組合)

店名とイメージカラーを載せて以前から実施している。

(委員)

装飾できるのは街路灯50本、50店までか。

(千日通商店街振興組合)

早い者勝ち。前年度やっていたところが優先的に対象となっている。

(委員)

このプレートを使って何かしらの販促の仕組み作りができればいいと思う。

(千日通商店街振興組合)

検討する。

(委員)

ベ이스ターズとの関わりを出していきたいか。

(千日通商店街振興組合)

昔は選手が来てくれてたが、追浜にドックができたこともあり、あまり横須賀中央に来なくなったと思われる。

シーズンシートはお客様のリクエストを聞いて、渡すようにしている。

(委員)

チケットの金額が上がっているので、費用対効果は考えた方がよいかもしれない。

(千日通商店街振興組合)

無料で配っているグッズを渡したり、キッズデーに配るユニフォームを差し上げたりはしている。

(委員)

応募レシートの業種の偏りについては解消されたか。

(千日通商店街振興組合)

信金など物販などではない業種でも、ハンコを押してもらえれば対象とし、2,000円分のレシートと同様という取り扱いにしたことで、少し改善された。

・三笠ビル商店街協同組合 質疑応答

(委員)

商店街の装飾について、広報手段としてインスタグラムと記載があるが、効果的にはどうか。

(三笠ビル商店街協同組合)

今まではFacebookやホームページで広報していたが、どれくらいの方に見てもらえているか分からなかった。スマホユーザーの大多数はインスタグラムを使っているので、アカウントを作って今年から発信していきたい。

(委員)

最近はリール動画が流行っていると聞く。他商店街では、インスタグラムをできる人がいないので運用が難しいという声もあるが、各店舗に運用を任せるのか。

(三笠ビル商店街協同組合)

情報発信が得意なお店は、インスタグラムなど活用している。そういったお店からヒントをもらいたい。

(委員)

お店と商店街で共同投稿できるので、試してみて欲しい。

(三笠ビル商店街協同組合)

運用を検討する。

(委員)

装飾はどのようなものを出すか。

(三笠ビル商店街協同組合)

業者と相談しながら安全面も考慮し調整を進めている。

昨年も装飾を見た人から可愛いと言ってもらえたので、反応を拾いながら進めていきたい。アーケードの天井に何か投影できればと考えているが、費用がかかるので検討中。今まで春に装飾をしていなかったもので、何かしらの形で桜の装飾をしたい。また、ハロウィンはコスプレイヤーの方にお菓子配ってもらっていたが、見直しを考えている。レシート持ってきたらフェイスペイントするなど。今年はバラマキを減らしたい。

(委員)

茅ヶ崎の商店街では、桜の枝を各店舗に配布して装飾してもらおう取組みを行っている。

(三笠ビル商店街協同組合)

お店の人と交流しながら考えていきたい。

(委員)

ガラポン抽選会で、1等の予算を下げているか。

(三笠ビル商店街協同組合)

はい。1等に予算を集中させるより、1等以下の当選人数を増やして買い物をしてもらう。金券もいいがグッズを多くの人に配布し、商店街のものを手に取って思い出してもらいたい。

(委員)

当選金の設定は大事。

(三笠ビル商店街協同組合)

少なくなったというイメージを与えないことが大切だと思っている。お客さんの満足度が下らない工夫をしている。

渡す際もホスピタリティを意識し、会話をしながら渡すようにしている。

・上町商店街連合会

(委員)

デジタルアーカイブとインバウンドへの活用と記載あるが、具体的にはどのような内容か。

(上町商店街連合会)

横須賀アートセンターという美術系の店舗がVRを活用した取組みを行う。また、看板建築については、上町のガイドツアーを猿島ガイドをやっている方に依頼し、それを記録してアーカイブ化する。看板建築を切り口にした作品で周知していく。

(委員)

インバウンドは多いか。

(上町商店街連合会)

住んでいる人も多いが、かなりの比率で来街はある。ベース関係者も多く、地域イベントでもインバウンドの来街はある。

(委員)

英語対応はしているか。

(上町商店街連合会)

英語勉強会をしたこともあるし、お店によっては英語表記のメニューを作成している。スマホを使って対応できるようになったことも大きい。

(委員)

インバウンド対策が実ってきていいことだと思う。

(上町商店街連合会)

うわまち広場の活用もあり活気、集客もよくなっている。

(委員)

うわまつのガイドツアーを依頼する軍港巡りの案内人は、個人的な繋がりか。

(上町商店街連合会)

商店街関係者との個人的な繋がり、シティガイドの方。

(委員)

若い人が新しいお店を出していて、上町のポテンシャルは高いと感じる。

(上町商店街連合会)

若い世代が商売をしやすくなる環境、個性ある街を目指している。

(委員)

イベント当日の物販などはいかが。

(上町商店街連合会)

店舗の前で出店する。中里通りでは外部から飲食を呼んでいたが、今年は自分たちで出店したいという声があり、前向きに取り組んでもらっている。

(委員)

イベント時に購買意欲があがるような企画づくりも考えてみて欲しい。

(上町商店街連合会)

承知した。

(4)その他

(事務局)

今後の審査会スケジュールについては、後日調整をさせていただく。

以上で、商業振興補助事業審査委員会（第2回）を終了する。

商業振興補助事業審査委員会 次第

日 時 令和8年5月29日（金）14時00分～

会 場 横須賀市役所 2号館 6階 261会議室

1 開 会

2 議 題

（1）商店街にぎわいづくり事業補助金の審査について

ア にぎわいづくりイベント事業

（2）その他

3 閉 会

商業振興補助事業審査委員会条例

(設置)

第1条 本市の商業の振興を図るための補助金に対して交付申請のあった事業の審査に関し、市長の諮問に応ずるため、商業振興補助事業審査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員6人をもって組織する。

2 委員は、商業振興に関し専門知識を有する者及び市職員のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(その他の事項)

第6条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 第2条第3項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱され、又は任命された委員及び部会員の任期は、平成26年3月31日までとする。

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

商店街にぎわいづくり事業補助金交付要綱

(総則)

第1条 地域の特性に対応した機能を高め、活力とにぎわいのある商店街づくりを進めるため、市内商店街団体が行う事業に対する補助金の交付については、補助金等交付規則（昭和47年横須賀市規則第33号。以下「規則」という。）に定めがあるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要綱において、次に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 商店街団体 商業者等が地域的に組織した次に掲げるものをいう。

ア 商店街振興組合

イ 商店街協同組合

ウ ア及びイに掲げるもののほか、法人化された商店街団体

エ アからウまでに掲げるもののほか、任意の商店街団体で市長が認めるもの

(2) コミュニティスペース 商店街利用者の交流を図ることができる場所のことをいう。

(補助対象事業)

第3条 補助の対象となる事業は、商店街団体が行う次に掲げる事業で、第1号に掲げる事業については原則として補助金の交付申請を行った年度内に完了するものとし、第2号、第3号及び第4号に掲げる事業については、補助金の交付申請を行った年度を含めて3年度までの間に完了するものとする。ただし、市長が特に認める場合は、この限りでない。

(1) にぎわいづくりイベント事業 次に掲げる販売促進を伴うイベント等の事業をいう。

ア まつり等の催物

イ 各種教室及び講習会

ウ 各種コンクール及び展示会

エ 期間を限定した大売出し

オ その他市長が適当と認める事業

(2) 集客力向上モデル事業 将来にわたって商店街の競争力や集客力強化を図るために、次に掲げる新規性や独創性のある事業で、かつ、取組みや効果に継続性や持続性があると認められるものをいう。

ア 子育て世帯（18歳未満の子が同居する世帯をいう。）の商店街利用を

促進するサービスの提供

イ 高齢者及び障害者が安心して利用できる商店街にするためのサービスの提供

ウ 商店街独自の商品の開発

エ 商店街活性化に関する事業計画の策定、事業の運営等に係るコンサルタントを活用

オ その他市長が適当と認める事業

(3) 商店街地域資源活用事業 商店街団体が各々の地域資源を活用し、当該商店街の活性化を図るための事業

(4) 商店街空き店舗活用事業 商店街団体が魅力や集客力向上のために、商店街内の空き店舗を新たに借り上げ、コミュニティスペースを作成し、年間を通じて様態を変えて運用する事業

2 前項第2号に掲げる事業にあつては、同一の商店街団体が既に補助金を受けた際の事業内容と類似した内容の場合は、補助の対象としない。

(事業の公募)

第4条 補助金の交付を受けようとする商店街団体は、市長があらかじめ指定した期間内に希望調書を作成し、市長に申請するものとする。

(事業の選定)

第5条 市長は、前条の希望調書の提出を受けたときは、その内容を審査し、適当と認めたときは補助対象の事業として選定するものとする。この場合において、市長は、必要に応じ、当該希望調書を提出したもの及び商店街の振興に関し専門的知識を有する者の意見を聴くものとする。

(補助対象経費)

第6条 補助対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、前条の事業の実施に要する経費のうち、次に掲げるものとする。

(1) 施設及び設備の借上料

(2) 施設及び設備（第2条第1号エに該当する商店街団体が行う第3条第1項第1号、第2号及び第3号に掲げる事業にあつては、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年3月31日大蔵省令第15号）で規定する耐用年数3年以内のものに限る。）の購入費

(3) 装飾費

(4) 印刷費（開催案内、宣伝ポスター等）

(5) 教材費（テキスト等事業の実施に直接必要なもの）

(6) 報償費（講師謝金、商店街モニター謝金等）

(7) 委託費

(8) 原材料費

(9) その他市長が必要と認める経費

- 2 前項の規定にかかわらず、補助の対象となる事業の実施に伴う事業収入の額及びこの要綱の規定による補助金と同様の趣旨の他の補助金等の交付（国、県その他団体によるものを含む。）を受けている場合における当該補助金等の額については、補助対象経費の総額から差し引くものとする。

（補助金額）

第7条 補助金額は、予算の範囲内において、次の表の左欄に掲げる事業区分に応じそれぞれ同表の中欄に定める補助金額（同表右欄に掲げる額を限度とする。）を合計した額とする。

事業区分	補助金額		補助限度額
第3条第1項第1号に掲げる事業	補助対象経費の総額 ÷ 3 ただし、補助対象経費の総額の下限額は30万円とする。		200万円
第3条第1項第2号に掲げる事業	補助対象経費の総額 × 2 ÷ 3 ただし、補助対象経費の総額の下限額は30万円とする。		200万円
第3条第1項第3号に掲げる事業	補助対象経費の総額 × 2 ÷ 3		100万円
第3条第1項第4号に掲げる事業	第6条第1項第1号のうち、空き店舗の借上料	補助対象経費の総額 ÷ 2	100万円
	空き店舗の借上料以外の経費	補助対象経費の総額 ÷ 2	50万円

- 2 前項の規定により算出した補助金額に1,000円未満の端数があるときは、その端数金額は切り捨てるものとする。

（申請手続き等）

第8条 第5条の規定により選定された商店街団体は、市長があらかじめ指定した期間内に補助金等交付申請書を提出しなければならない。

- 2 規則第4条第3号に規定する補助金の交付申請に添付するその他の参考と

なる書類は、次に掲げるものとする。

- (1) 商店街団体会則
 - (2) 商店街団体会員名簿
 - (3) 当該事業の実施について議決した総会等の議事録の写
 - (4) その他市長が必要と認める書類
- (書類等の保管)

第9条 規則第8条に規定する書類及び帳簿等は、当該補助事業の完了した市の会計年度の翌年度から5年間保管しなければならない。

(実績報告)

第10条 規則第10条に規定する市長の定める書類は、次に掲げるものとする。

- (1) 事業内容が確認できる書類
- (2) 商店街にぎわいづくり事業収支明細書（別記様式）
- (3) 補助対象経費に係る支払領収書の写
- (4) その他市長が必要と認める書類

附 則

この要綱は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

2 活き活き商店街サポート事業補助金交付要綱（平成20年4月1日制定）は、廃止する。

附 則

1 この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

2 空き店舗出店奨励金交付要綱（平成21年3月4日制定）は、廃止する。

附 則

この要綱は、平成26年8月18日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

別記様式（第10条関係）

商店街にぎわいづくり事業収支明細書

（収入の部）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
市 補 助 金			
自 己 資 金			
そ の 他			
計			

（支出の部）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
計			

タイムスケジュール

資料 2

資料 NO.	時間	事業区分				団体名	事業名
		モデル	地域資源	空き店舗	にぎわい		
	14:00 ～ 14:10	開会あいさつ、委嘱、審査会実施方法の確認 等					
4-1	14:10 ～ 14:30				○	久里浜商店会協同組合	・鯉のぼりの展示 ・2026久里浜ペリー祭 ・久里浜第14回食の祭典 & ハロウィンフェスティバル ・2026久里浜クリスマスフェスタ
4-2	14:30 ～ 14:50				○	追浜銀座通り商店会	・おっぱまつり2026
4-3	14:50 ～ 15:10				○	野比駅前商店会	・頑張ります宣言売り出し、サマーセール ・頑張ります宣言売り出し、ウインターセール ・頑張ります宣言売り出し、春のバザール
	15:10 ～ 15:20	休憩(10分)					
4-4	15:20 ～ 15:40				○	千日通商店街振興組合	・街路灯イルミネーション ・横浜DeNAベイスターズ応援キャンペーン
4-5	15:40 ～ 16:00				○	三笠ビル商店街協同組合	・商店街全体装飾 ・歳末恒例大ガラポン抽選会
4-6	16:00 ～ 16:20				○	上町商店街連合会	・うわまつり2026

1 商店街にぎわいづくり事業補助金 審査方法について

(1) 補助金申請区分について

商店街にぎわいづくり事業補助金には、以下の4種類の申請区分を設けています。

ア にぎわいづくりイベント事業

対象事業：商店街が賑やかしや集客などのため、主に定期的に取り組んでいる販売促進を伴うイベント等の事業。

補助率：1/3

限度額：200万円

イ 集客力向上モデル事業 ※採択事業

対象事業：商店街が新たに取り組む、将来にわたって商店街の競争力・集客力強化を図る新規性・独創性があり、かつ取り組みや効果に継続性・持続性がある事業。

補助率：2/3

限度額：200万円

ウ 商店街地域資源活用事業 ※採択事業

対象事業：商店街が既に商店街の地域内で認知されている本市地域資源を活用し、地域外へのPRを進め、商店街の活性化を図るための事業。

補助率：2/3

限度額：100万円

エ 商店街空き店舗活用事業 ※採択事業

対象事業：商店街が魅力や集客力向上のために、新たに、商店街の空き店舗を借り上げ、それを活用してコミュニティスペース等を作成し、年間を通じて、様態を変えて運用する事業。

補助率：1/2

限度額：最大3年間の継続補助とする

	1年目	2～3年（予定）
家賃	100万円	100万円
家賃以外の経費	50万円	30万円

(2) 審査の実施目的について

申請区分ごとに以下の目的で審査を行います。

ア にぎわいづくりイベント事業

審査目的：採点を行わず、審査員からの意見や助言等を提供すること

イ 集客力向上モデル事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の可否を決定すること

ウ 商店街地域資源活用事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の可否を決定すること

エ 商店街空き店舗活用事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の可否を決定すること

(3) 採点方法について

別添採点表に基づき、4項目×各5点＝20点満点で評価を行います。

審査委員の合計が70%を超えるものを採択します。

（例）審査員が6名の場合、120点満点中84点を超えるものを採択

⇒ 70%を超える事業

① 採択（補助率2／3）（採択にあたって条件を付すものを含みます）

⇒ 70%以下の事業

② にぎわいづくりイベント事業に該当する事業（販売促進を伴うイベント等の事業）

⇒にぎわいづくりイベント事業補助金の申請として受付（補助率1／3）

(4) 採点基準

4つの審査項目について5段階で評価します。

各項目とも「3」を採択基準ラインとします。

配点	審査項目への適合
5	審査項目の内容を十分に満たしている
4	⇕
3	審査項目の内容を概ね満たしている
2	⇕
1	審査項目の内容を満たしていない

にぎわいづくりイベント事業 希望調書

資料 4

5月29日分

NO.	審査実施 時間	団体名	事業名
1	14:10 ～ 14:30	久里浜商店会協同組合	・鯉のぼりの展示 ・2026久里浜ペリー祭 ・久里浜第14回食の祭典&ハロウィンフェスティバル ・2026久里浜クリスマスフェスタ
2	14:30 ～ 14:50	追浜銀座通り商店会	・おっぱまつり2026
3	14:50 ～ 15:10	野比駅前商店会	・頑張ります宣言売り出し、サマーセール ・頑張ります宣言売り出し、ウインターセール ・頑張ります宣言売り出し、春のバザール
4	15:20 ～ 15:40	千日通商店街振興組合	・街路灯イルミネーション ・横浜DeNAベイスターズ応援キャンペーン
5	15:40 ～ 16:00	三笠ビル商店街協同組合	・商店街全体装飾 ・歳末恒例大ガラポン抽選会
6	16:00 ～ 16:20	上町商店街連合会	・うわまつり2026

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	鯉のぼりの展示
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	京急久里浜駅周辺の商店街の衰退と、協同組合加盟の会員店舗の
	売上減少を止めるため。以下のイベントを実施して商店街の集客力
	の向上と商店街の活性化及び協同組合加盟店の売上増加を目的
	として行う。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	子どもの日に合わせてはろーど通りと黒船仲通りに鯉のぼりを展示。
実施時期	2026/4/10～2026/5/5
実施場所	京急久里浜駅前通り（はろーど通り）
事業のセールスポイント	鯉のぼりの展示で久里浜商店街知ってもらって久里浜商店街の魅力を感じてもらい集客に繋げる

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1			
広報手段	SNS、タウンニュース広告			
広報範囲	商店街Xのフォロワー1800人 タウンニュース横須賀版読者7万人	広報対象人数	70,000人	
前年度からの改善 (定例事業の場合)	経費削減と人で不足により、イベントは開催しないこととした。			
【目標】 商店街で掲げる目標	多くの方にきてもらい久里浜商店街を認知してもらう。			
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	500人	通常時	300人	
今後の展開	商店会員の交流を深め、今後の商店街活動に繋げていく。			
事業費と内訳	費目	金額	備考	
	鯉のぼり設置費用	180,000		
	合計	180,000		

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	2026 久里浜ペリー祭
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	京急久里浜駅周辺の商店街の衰退と、協同組合加盟の会員店舗の
	売上減少を止めるため。以下のイベントを実施して商店街の集客力
	の向上と商店街の活性化及び協同組合加盟店の売上増加を目的
	として行う。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	ペリー祭に協賛し、駅前通りを歩行者天国にして
	バンド演奏、各種の模擬店等のイベントを実施する。
実施時期	2026/7/11(土)
実施場所	京急久里浜駅前通り（はろーど通り）
事業のセールスポイント	花火を見に来る方たちに久里浜商店街を知ってもらって久里浜商店街の魅力を感じてもらい集客に繋げる

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2			
広報手段	SNS、タウンニュース広告			
広報範囲	Xのフォロワー1800人 タウンニュース横須賀版読者7万人	広報対象人数	70,000人	
前年度からの改善 (定例事業の場合)	昨年は悪天候により全イベントが中止となった 			
【目標】 商店街で掲げる目標	多くの方にきてもらい久里浜商店街を認知してもらおう。			
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	5,000人	通常時	300人	
今後の展開	イベントを通じて商店会員の交流を深め、今後の商店街活動に 繋げていく。 			
事業費と内訳	費目	金額	備考	
	ヒーローショー	500,000		
	合計	500,000		

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	久里浜第14回食の祭典&ハロウィンフェスティバル
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	京急久里浜駅周辺の商店街の衰退と、協同組合加盟の会員店舗の
	売上減少を止めるため。以下のイベントを実施して商店街の集客力
	の向上と商店街の活性化及び協同組合加盟店の売上増加を目的
	として行う。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	ハロウィンに合わせて駅前通りを歩行者天国にしてパフォーマンス、バンド、
	各種の模擬店等を実施する。
	久里浜観光協会と共催で、久里浜地域の飲食店に協力していただき、
	地元グルメのコンテストを開催する。
実施時期	2026/10/17(土)
実施場所	京急久里浜駅前通り（はろーど通り）
事業のセールスポイント	お子様対象の仮装イベントと食の祭典のコラボイベントで久里浜商店街の魅力を知ってもらい、集客に繋げる。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	3		
広報手段	SNS、タウンニュース広告		
広報範囲	Xのフォロワー1800人 タウンニュース横須賀版読者7万人	広報対象人数	70,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	昨年は好評でしたので引き続き継続していく。		
	電源の配置がうまくいかず混乱していたので改善する。		
【目標】 商店街で掲げる目標	多くの方にきてもらい久里浜商店街を認知してもらう。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	2,000人	通常時	300人
今後の展開	イベントを通じて商店会員の交流を深め、今後の商店街活動に		
	繋げていく。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	イベント司会料	20,000	
	衣装、装飾費	30,000	
	配布用お菓子	30,000	
	バンド出演料	20,000	
	合計	100,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
4	2026 久里浜クリスマスフェスタ
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	京急久里浜駅周辺の商店街の衰退と、協同組合加盟の会員店舗の
	売上減少を止めるため。以下のイベントを実施して商店街の集客力
	の向上と商店街の活性化及び協同組合加盟店の売上増加を目的
	として行う。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	久里浜観光協会と共催でクリスマスイベントを開催。
	地元幼稚園、保育園の児童にサンタクロースの絵を描いてもらい
	イベント当日に展示する。ポニー乗馬体験、サンタクロースとの
	撮影会を実施予定。
	商店会会員による各種模擬店とFマリノスのブース等も予定。
	商店街にクリスマスイルミネーションを装飾する。
実施時期	2026/12/19(土)
実施場所	京急久里浜駅前通り（はろーど通り）
事業のセールスポイント	ポニー乗馬と絵の展示など、家族で参加しやすいイベントを実施して一緒に来る親御さんに久里浜商店街知ってもらって久里浜商店街の魅力を感じてもらい集客に繋げる

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	4		
広報手段	SNS、タウンニュース広告		
広報範囲	Xのフォロワー1800人 タウンニュース横須賀版読者7万人	広報対象人数	70,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	撮影会で混雑したのでスムーズに運営できるようにする。		
【目標】 商店街で掲げる目標	多くの方にきてもらい久里浜商店街を認知してもらう。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	1,500人	通常時	300人
今後の展開	イベントを通じて商店会員の交流を深め、今後の商店街活動に 繋げていく。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	イベント司会料	20,000	
	イルミネーション	600,000	
	合計	620,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

令和 8 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	追浜銀座通り商店会			会員数	80
住所	[REDACTED] [REDACTED]			組織 形態	☐ 法人 ☒ 任意
代表者	[REDACTED] [REDACTED]				
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]		
		E-mail	[REDACTED]		

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(5,500,000 円) 1/3 →	(1,830,000 円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です（初回費用無料）。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

☐ 商工相談員の派遣を希望する ☒ 商工相談員の派遣を希望しない

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
	おっぱままつり 2026
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	本商店会は追浜駅周辺にある 80 店舗が軒を連ねており、顧客層は 地域住民や駅利用者が主ですが、新たに子育て世代を獲得したい。 日産追浜工場の閉鎖による客数の減少してきている現状です。 地域の学校や観光協会と連携し、商店街の魅力を発信し顧客を増やし ていくために、当該事業の実施を計画しています。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	商店街の通りを歩行者天国にし、各種イベントを開催。 地域の人々や子どもたちによるダンスや沖縄エイサー、知太鼓。 阿波踊りチーム(5団体)によるパレードや横須賀のダンスチーム マリノスダンスチームの演技、ストラックアウト等 白バイ展示や撮影会等。盛沢山で活気ある商店街を作ります。 店舗前では出店を出店し、顧客を獲得できるように盛り上げます。
実施時期	7月12日
実施場所	追浜銀座通り商店会内
事業のセールスポイント	子どもたちのダンスやおっぱまソーラン、ストラックアウト等で 子ども達がより楽しめるお祭りを作る。親や親族の集客を狙い子育て世 帯が親しみやすい商店街を目指す。

(にぎわいづくりイベント事業)

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1			
広報手段	チラシの折込やポスターの配布、SNS			
広報範囲	商店会周辺エリアに配布	広報対象人数	80,000 人	
前年度からの改善 (定例事業の場合)				
【目標】 商店街で掲げる目標	各店舗の売上10%増加			
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	10,000 人	通常時	8000 人	
今後の展開	商店街の認知度が向上することで、新たな来街者や、店舗の周知			
	を期待したい			
	日産追浜工場が撤退した以降も、継続的な来客を維持して行きたい。			
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考	
	イベント費用	3,300,000	出演料	
	本部設営工事費	880,000	委託費	
	放送・音響・設備費 (ベ이스ターズ・マリノス関連)	550,000	委託費	
	広報・看板代	33,000	広告宣伝費	

	警備費	330,000	委託費
	事務・コピー費	110,000	消耗品費
	合計	5,500,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要
 ※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 8 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	野比駅前商店会			会員数	39
住所	[REDACTED]			組織 形態	☐ 法人 ☒ 任意
代表者	[REDACTED]				
記入者	[REDACTED] [REDACTED]	TEL	[REDACTED]		
		E-mail	[REDACTED]		

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(1620000 円) 1/3→ (540,000 円)	
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です（初回費用無料）。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

☐ 商工相談員の派遣を希望する ☒ 商工相談員の派遣を希望しない

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
①	頑張ります宣言売出し、サマーセール
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	1、イベント(セール)期間中の売上の増加と、通常営業のときにもセールの勢いで売り上げの増加を持続させる。 2、野比駅前商店会という組織が存在し、積極的に販売活動を行っていることを近隣住民に知ってもらう。 3、個店が商店会に加盟しているメリット・在籍意義を提供する。また非加盟店との差別化を顕著化する。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	1、各店特別売出しと「やさしいおもてなし」のPR。 2、抽選による商店会商品のプレゼント。(1等3万円、2等1万円の商品・利用券の贈呈等) 3、野比駅前商店会の公式マスコットキャラクターすいせんの「すいちゃん」のPR 4、全個店名をチラシに掲載し各店のアピールを行う。
実施時期	令和8年7月中旬
実施場所	野比駅前商店街内
事業のセールスポイント	昨年同様、商店会の商品のプレゼントとしましたが、今年はマスコットキャラクターを積極的に活用し、売り上げにつなげるとともに子どもや住民に親しまれる商店街を目指す。 (にぎわいづくりイベント事業)

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

事業 NO.	①		
広報手段	チラシの新聞折込、HP、店頭ポスター		
広報範囲	商店街周辺(野比、ハイランド 栗田等)	広報対象人数	30,000 人(12,000 世帯)
前年度からの改善 (定例事業の場合)	昨年活用できなかったマスコットキャラクターによるグッズを作成し、 広げることで、商店会ににぎわいをつくるとともに各店の販売促進につ なげる。		
	お客さんの喜ぶ景品等を用意する。		
【目標】 商店街で掲げる目標	各店の売上 10 %増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3000 人	通常時	1500 人
今後の展開	今年はマスコットキャラクターを活用した事業を展開することで、お客 さんへの周知をさらに広げ、様々なイベントで PR する。		
	イベントを通じ、商店会に加盟していない個店にアピールし、商店会の 会員数を増やす。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	印刷費	210,000 円	チラシ、応募券
	広告宣伝費	150,000 円	ポスター、新聞折込み
	賞品	300,000 円	景品等
	合計	660,000 円	

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

事業 NO.	事業名
②	頑張ります宣言売出し、ウインターセール
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	1、イベント(セール)期間中の売上の増加と、通常営業のときにもセールの勢いで売り上げの増加を持続させる。 2、野比駅前商店会という組織が存在し、積極的に販売活動を行っていることを近隣住民に知ってもらう。 3、個店が商店会に加盟しているメリット・在籍意義を提供する。 また非加盟店との差別化を顕著化する。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	1、各店特別売出しと「やさしいおもてなし」のPR。 2、抽選による商店会商品のプレゼント。(1等3万円、2等1万円の商品・利用券の贈呈等) 3、野比駅前商店会の公式マスコットキャラクターすいせんの「すいちゃん」のPR 4、全個店名をチラシに掲載し各店のアピールを行う。 5、神奈川県、横須賀市のプレミアム商品券事業を併用して、各加盟店の売り上げに貢献する
実施時期	令和8年12月下旬
実施場所	野比駅前商店街内
事業のセールスポイント	プレミアム商品券を活用し、各商店の売り出しと合わせて、お得に買い物ができること。今年はマスコットキャラクターを積極的に活用し、売り上げにつなげるとともに子どもや住民に親しまれる商店街を目指す。

事業 NO.	②			
広報手段	チラシの新聞折込、HP、店頭ポスター			
広報範囲	商店街周辺(野比、ハイランド等)	広報対象人数	30,000 人(12,000 世帯)	
前年度からの改善 (定例事業の場合)	昨年活用できなかったマスコットキャラクターによるグッズを作成し、広げることで、商店会ににぎわいをつくとともに各店の販売促進につなげる。			
	お客さんの喜ぶ景品等を用意する。			
【目標】 商店街で掲げる目標	各店の売上 10 %増加			
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3,000 人	通常時	1,500 人	
今後の展開	今年もマスコットキャラクターを活用した事業を展開することで、お客さんへの周知をさらに広げ、様々なイベントでPRする。			
	イベントを通じ、商店会に加盟していない個店にアピールし、商店会の会員数を増やす。			
事業費と内訳	費目	金額	備考	
	印刷費	210,000 円	チラシ、応募券	
	広告宣伝費	150,000 円	ポスター、新聞折込み	
	賞品	400,000 円	景品等	
	合計	760,000 円		

事業 NO.	事業名
③	頑張ります宣言売出し、春のバザール
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	1、野比駅前商店会という組織が存在し、積極的に販売活動を行っていることを近隣住民に知ってもらう。
	2、個店が商店会に加盟しているメリット・在籍意義を提供する。 また非加盟店との差別化を顕著化する。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	1、各店特別売出しと「やさしいおもてなし」のPR。
	2、野比駅前商店会の公式マスコットキャラクターすいせんの「すいちゃん」のPR。
	3、全個店名をチラシに掲載し各店のアピールを行う。
実施時期	令和9年3月下旬
実施場所	野比駅前商店街内
事業のセールスポイント	マスコットキャラクターを積極的に活用し、子どもや住民に親しまれる 地元に密着した商店会を目指す。

事業 NO.	③			
広報手段	チラシの新聞折込、HP、店頭ポスター			
広報範囲	商店街周辺(野比、ハイランド等)	広報対象人数	30,000 人(12,000 世帯)	
前年度からの改善 (定例事業の場合)	マスコットキャラクターのイメージを定着・発展させ、各店の販売促進			
	つなげる。			
【目標】 商店街で掲げる目標	各店の売上 10 %増加			
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	2,500 人	通常時	1,500 人	
今後の展開	今年もマスコットキャラクターを活用した事業を展開することで、お客さんへの周知をさらに広げ、様々なイベントでPRする。			
	イベントを通じ、商店会に加盟していない個店にアピールし、商店会の会員数を増やす。			
事業費と内訳	費目	金額	備考	
	印刷費	80,000 円	チラシ	
	広告宣伝費	120,000 円	ポスター、新聞折込	
	合計	200,000 円		

令和 8 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	千日通商店街振興組合			会員数	93
住所	[REDACTED]			組織 形態	☒ 法人 ☐ 任意
代表者					
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]		
		E-mail	[REDACTED]		

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(2,300,000 円) 1/3→ (	766,000 円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

☐ 商工相談員の派遣を希望する	☒ 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	街路灯イルミネーション
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	季節に合わせた装飾をすることで商店街の活性化を推進する。
	来街者や市民にひと時の憩いと安らぎと安全を提供する。
	10年以上前からの恒例行事です。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	イルミネーションの設置。
	イルミネーションに個店のプレートを付し、個店をPRする。
	街路灯66本のうち約50本（防犯カメラの関係等で非設置あり）
	に電飾を施し、来街者へ明るさを提供し、安心安全なまちづくりに
	寄与する。
実施時期	令和8年11月～令和9年2月
実施場所	若松町と大滝町の商店街街路灯
事業のセールスポイント	イルミネーションに個店プレートを取付け、売上増を図る。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	イルミネーション自体が広報と考えます。		
広報範囲	商店街内	広報対象人数	来街者全員
前年度からの改善 (定例事業の場合)	LEDの交換、補充		
	長年の課題であるプレートの改良、交換		
【目標】 商店街で掲げる目標	安心安全な商店街とする。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	1, 200人	通常時	1, 000人
今後の展開	来期も同様に行いたい。		
	昨年度、懸案事項であった再開発エリアの電飾も継続して行う目途		
	がたち、従来通り商店街全体でのイルミネーション事業を行います。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	装飾費	1,300,000 円	イルミネーション代
	合計	1,300,000 円	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	横浜D e N Aベイスターズ応援キャンペーン
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	地元関連球団である横浜D e N Aベイスターズを商店街をあげて 応援する。 5年以上前からの恒例行事です。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	街路灯に横浜D e N Aベイスターズのフラッグを掲出し、応援する。 商店街加盟の店舗で回遊しお買物していただいたお客様に 横浜スタジアムのチケットプレゼント。 物販、飲食店以外の店舗もプレゼントの対象とする。 横浜D e N Aベイスターズに関連したグッズもプレゼント。 本年度はNPBとポケモンがコラボするので、関連グッズもあり 双方のファンをとりこみ売上増に寄与したい。 店頭にはポスターを掲出、可能であれば店内にやフラッグやグッズ等 配置してもらい、来街者全員にPRする。
実施時期	令和8年4月～令和8年10月
実施場所	若松町と大滝町の商店街街路灯、加盟店舗
事業のセールスポイント	店舗の回遊による個店の売上増を図る。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	チラシ、ポスター、フラッグ		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	8,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	当選者へのアンケート調査の拡充。当選者の選別。		
	参加店をカテゴリー分けし、レシートの偏りを解消。		
	チケット値上げ(2年前の約2倍)の為、応募金額のUP。		
【目標】 商店街で掲げる目標	商店街をあげて横浜DeNAベイスターズを応援。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	8,000人	通常時	0人
今後の展開	来期も同様に行いたい。		
	CSや日本シリーズ、オールスター戦の購入権プレゼント。		
	優勝セールを事前に準備し、盛大に行いたい。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	報償費	950,000円	チケット代金
	印刷費	50,000円	チラシ印刷代
	合計	1,000,000円	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 8 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	三笠ビル商店街協同組合			会員数	38
住所	[REDACTED]			組織 形態	☒ 法人 ☐ 任意
代表者	[REDACTED]				
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]		
		E-mail	[REDACTED]		

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(4, 100, 000 円) 1/3→	(1, 366, 000 円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行いますが、その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です（初回費用無料）。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

☐ 商工相談員の派遣を希望する	☒ 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	商店街全体装飾
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	当商店街は 67 年の歴史があるがかなりいろいろなところに古さが目立ってきている。今年はお客様が商店街に来ていただいたときに「あっ」これ変わったね、とか「面白い」って感じてもらえる商店街をコンセプトにできれば季節感も出しながら装飾を施したい。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	7 月 七夕吹き流し等装飾 10 月 ハロウィーン装飾 12 月 イルミネーション装飾（横須賀中央イルミネーションとは別） 3 月 春らしい桜装飾
実施時期	7 月 10 月 12 月 3 月
実施場所	商店街アーケード内
事業のセールスポイント	次はどういう飾りつけなのかな？といった期待感でまた来たくなる商店街

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1			
広報手段	インスタグラム、Facebook 等			
広報範囲	ネットを使った広範囲	広報対象人数	人	
前年度からの改善 (定例事業の場合)	昨年度までは主に七夕と年末だけの装飾だったが、今年は年間を 通した企画とした 			
【目標】 商店街で掲げる目標	次はどんなイメージになるか期待感を創出したい			
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	人	通常時	人	
今後の展開	来街顧客の反応を見ながら企画内容をアップデートしていきたい。 			
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考	
	装飾 (7 月)	300,000	七夕	
	装飾 (10 月)	300,000	ハロウィーン	
	装飾 (12 月)	400,000	イルミネーション	
	装飾 (2027 年 3 月)	300,000	桜装飾	
	合計	1,300,000		

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	歳末恒例大ガラポン抽選会
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	一番お客様の関心が高い企画で今年も例年通りの内容で実施する。
	今年は特にプレミアム商品券事業が拡大するのでその商品券を多く
	当商店街で使ってもらえるように工夫したい。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	年末感を演出する横須賀中央イルミネーションの点灯中でのお買
	い物促進のためのガラポン抽選会を実施、商店街で利用できる金券、当
	商店街オリジナルグッズがもれなく当たる。
	毎年用意する景品が足りなくなるくらいの反応なのでなるべく多くの
	お客様にガラポン抽選に参加してもらえるように商品の数を工夫して
	増やしたい。
実施時期	12月初旬
実施場所	三笠ビル商店街全体
事業のセールスポイント	年末の商店街のにぎわいを創出する

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	ポスター、インスタ、Facebook 等		
広報範囲	来街顧客、SNS 利用者	広報対象人数	10,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	大口の金券金額を少し下げて多くの人に当たるようにする。		
	商店街独自のイルミネーションでのイベント告知を強化。		
【目標】 商店街で掲げる目標	商品数を増やしガラポン参加人数を増やす。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	1,000 人	通常時	800 人
今後の展開	インスタ、Facebook 等の告知を強化していきたい。		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	イルミネーション	1,700,000	横須賀中央イルミネーション
	ガラポン景品	800,000	
	運営スタッフ派遣	150,000	
	ポスター等広報	150,000	
	合計	2,800,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 8 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	上町商店街連合会		会員数	150
住所	[REDACTED]		組織 形態	☐ 法人 ☐ 任意
代表者	[REDACTED]			
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(1,600,000 円)	1/3 → (533,000 円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です（初回費用無料）。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

☐ 商工相談員の派遣を希望する

☒ 商工相談員の派遣を希望しない

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	うわまつり 2026
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	わまつりを通じて、地域住民や来街者へ商店街加盟店舗の魅力を強力に PR し、認知度向上と新規会員数の増加（組織強化）を図る。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	地域に長年親しまれ、今回解体が予定されている「旧上町病院」跡地（上 町広場）でのラストイベント「ココルーツ」をはじめ、地域の歴史的価値 （大正・昭和の看板建築など）や文化を次世代へ継承する契機とする。 また、地元の幼稚園、中学校、高校、内会、さらにはアーティストや 専門家と連携することで、単なる商業イベントにとどまらない 地域一体となった文化的・芸術的交流の場」を創出し、地域活性化の基盤 とするため。
実施時期	2026 年 10 月 10 日（土）
実施場所	横須賀市上町エリア全域

事業のセールスポイント	1. 圧倒的な地域密着と世代間交流 地元の3つの幼稚園(うわまち、聖心第二、めぐみ)、不入斗中、横須賀高といった教育機関から、東中里町内会館、地元商店主まで、街全体が総出で参加する一体感。 2. 歴史と記憶の記録(ストーリー性) 解体間近の病院跡地を舞台にした「ラストコロール」や、歴史を巡るガイドツアーなど、この時・この場所でしか体験できない価値を提供し、その様子を「記録ムービー(担当:越中)」として保存・発信する点。 3. 高い回遊性と経済波及効果 「中里通り」「叶エリア」「上町広場」の3大拠点を「ガイドツアー」や「チケッタ♪」「お菓子配り」で結ぶことで、エリア全体に人の流れを生み出し、各店舗への送客と新規会員スカウトを同時に実現する点。 (にぎわいづくりイベント事業)
-------------	---

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1			
広報手段	● 広報手段:専用ツアーチラシの制作、ポスター・チラシの地域配布、商店街公式 SNS・ウェブサイトでの発信、中里通り通行止めの事前告知。			
広報範囲	● 横須賀市内全域、および近隣地域。	広報対象人数	数万人規模 (チラシ部数・デジタルリーチ含む) 人	
前年度からの改善 (定例事業の場合)	● これまでの各単体イベントを「うわまつり」として1日に集約・パッケージ化。			
	● 各エリア(中里通り・上町広場・叶ステージ)ごとに責任者(bonbon氏、青木氏、佐々木氏、アンガージュマン氏等)を明確に配置し、専用のグループLINE構築などデジタル連絡網を整備して、安全かつ効率的な運営体制へと刷新した。			
	● 市商業振興課や博物館、消防(消防車の展示)など、行政・公的機関との連携を強化し、イベントの公共性と信頼性を高めた。			
【目標】 商店街で掲げる目標	うわまつりを通じた加盟店舗の認知度向上、および新規商店街会員の獲得(スカウト)。			
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	2000 人	通常時	300 人	

今後の展開

- 「うわまつり」の定例化とブランド化 単発のイベントで終わらず、今回の3商店街(上町商盛会、上町銀座商店街、中里通り商店街)の合同連携体制をベースに、秋の「うわまつり」を地域を代表する恒例行事として定例化します。回を重ねるごとに認知度を高め、周辺地域からも人が集まる独自のブランドイベントへと育てていきます。
- デジタルアーカイブとインバウンドへの活用 今回制作する「記録ムービー」や「ガイドツアー」のルートマップ、および旧上町病院跡地での「ココローツ」の記録などをWebサイトやSNSで継続的に発信します。大正・昭和の風情を残す「看板建築」などの歴史的・文化的資産をデジタル化して国内外へアピールし、日常的な観光(インバウンド含む)や、地域の歴史探訪を目的とした来街者の通年誘致に繋がります。
- 組織基盤の強化とコミュニティの継続的发展 イベント実施時に行う「新規商店街会員のスカウト」や、地元の幼稚園・中学校・高校、町内会との連携実績を財産とし、商店街の組織基盤を強化します。若手店主や地域住民が主体的に街づくりに関わる仕組みを維持し、持続可能な地域活性化とコミュニティの発展を実現します。

(参考)準備スケジュール(実行委員会ロードマップ)

- 5月末～6月初め:近隣関係各所への挨拶(各エリアの調整開始)
- 6月末:イベント内容の最終決定 / 横須賀市への補助金等申請提出
- 7月末:ポスター・チラシレイアウト最終校正 / 全体会議①
- 8月末:印刷物完成 / 各種申請(警察・保健所等) / キックオフ / 中里通行止めの告知開始
- 9月末:ハロウィンお菓子仕分け・配布準備 / 全体会議②
- 10月初め(イベント1週間前):備品最終チェック
- イベント2日前:備品の積み込み・搬入
- イベント前日夕方:各エリアに備品セッティング
- イベント当日 07:00:開催の連絡・運営開始

	費目	金額	備考
事業費と内訳	ステージ出演・音響費	120,000	中里通り音楽ステージ 予算
	ステージ司会費	15,000	司会謝礼
	イベント運営・備品費	300,000	上町広場、叶エリア等
	ガイドツアー・運営費	50,000	ツアー運営
	ハロウィン・広報費	365,000	お菓子スタッフTシャツなど
	チケット♪・イベント費	100,000	景品代
	落語会	150,000	東中里町内会館 出演費など
	記録・映像制作費	100,000	記録ムービー撮影・編集
	会場設営・諸経費	150,000	ガードマン
	印刷代	150,000	ポスターチラシ
	装飾費	100,000	会場装飾

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい